

唄げんか橋(南田原1号橋)

北川ダムを渡るフローティング形式のPC斜張橋



施主	建設省
施工場所	大分県南海部郡宇目町
完成年	1993年
橋長	292.1m
形式	3径間連続PC斜張橋(2面吊り)
全幅	14.9m
中央支間長	170m
桁高	1.7m(等桁高)
主桁断面	(中央径間)2室開断面箱桁 (側径間)開断面中空桁
主塔形状	逆Y字形 高さ 48m
斜材	SEEE マルチタイプ 12段(中央径間)、13段(側径間)
架設方法	片持ち張出し架設工法
受賞	PC技術協会 作品部門 1993年
参考文献	橋梁と基礎 1993年 11月

本橋は、逆Y字形の主塔から2面の斜材で吊られた3径間連続のPC斜張橋である。

中央径間に比べ側径間が短いため、主桁の断面形状を変えてバランスを取らせている。

中央径間は、2室の箱桁を上床版と横桁で繋いだ開断面形状であり、側径間は、中央径間の箱桁部分が円筒型枠を用いた中空断面になっている。

両橋台部分には、アップリフトに対するため、PC鋼材の浮上がり防止装置が取り付けられている。主塔部分では、主桁には支承がなくフローティング構造のため、橋軸直角方向の地震力に対する水平支承が取り付けられている。

